

功に任ぜらるゝ
と暮らす
山本

イモリとの出会い

2年生の夏、公園の池で
アカハライモリを5匹つかま
えた。そのかわいさに一目ぼれ
をし、家につれて帰って飼うことにした。



のんびりした重さ、あくびの大きな口
岩のかげからのぞいている顔。

口から出た泡にびくち 両手で顔をさ
ゴシゴシするところ、もてびやりしたらパニック
になりたれかの足にかみついてしまったりする。
見ていると本当におもしろい。



図書館で本をかりたり、ホームセンターで
エサを買ったり、インターネットでイモリの飼育方法を
調べた。3年生になり、図書館の奥の方で
「有尾類の教科書」という本を見つけた。

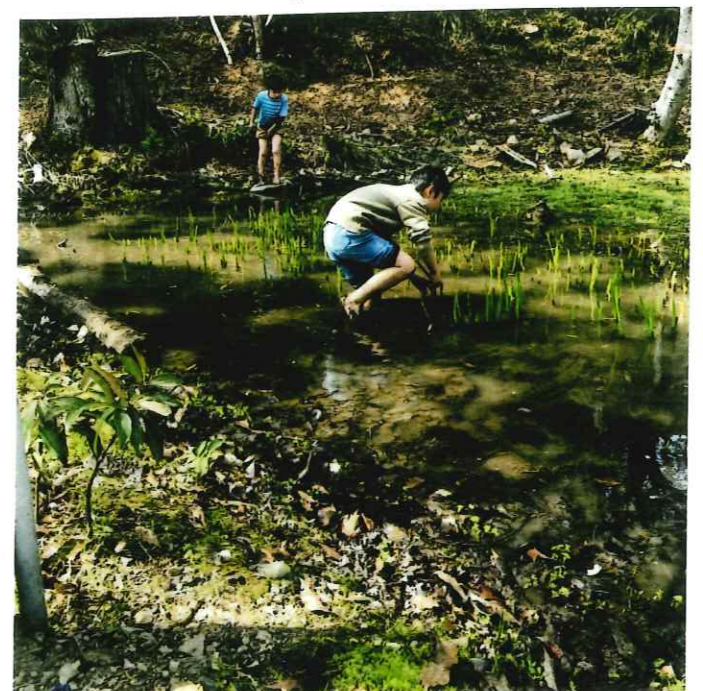


2年間 ぼくだけが読んでいたので
ないかと思うくらい借りては返しをずっと
続けた。



← この春
新しい本が
1冊でていた!!

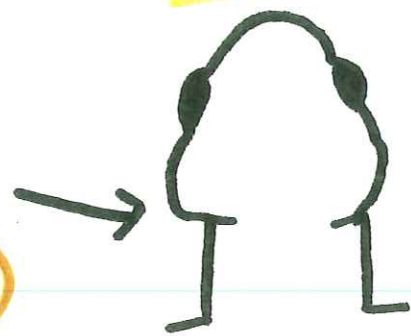
どんどん
イモリを好き
になり、
色んなところに
さがしに行きた。



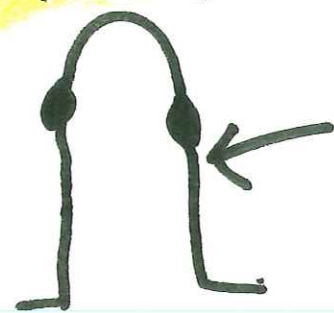
パットみて分かるイモリの

オスとメスの ちがいは

オス



メス



①

頭のちと下あたりがオスのみ
ふくらんでいる。

②



尾がオスはふくらんでいてみじかく、
メスは細く長い。

右の写真の尾のつけね
にオスのみかきも様突
起というものがついている

イモリは
同じ場所
同士でしか
交尾をしない。



地方によって方言が遠いすぎて
プロポーズが伝わらない!



オスのこんな色でみえる

アカハライモリのすごいところ

スゴイ!!

①

イモリが再生する

手足だけでなく、**心臓**や**脳**、**目**の一部を切り取っても再生する!!

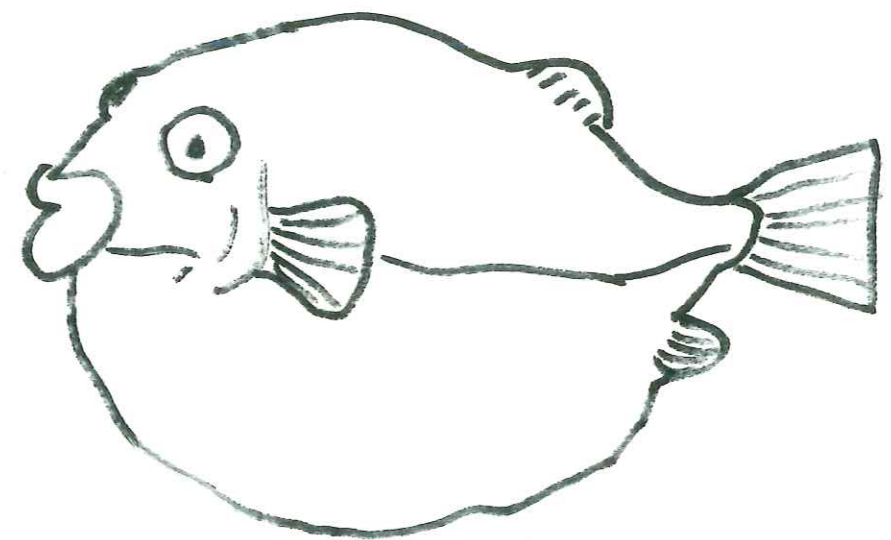
スゴイ!!

②

フグと同じ毒をもっている

テトロドトキシンという毒を、食べ物から体内にとり込んでいて、攻撃されると皮膚から毒を出す。

イモリをさわったら、手を洗おう



スゴイ!!

③ 天気を予想する!?

晴れの日には水中にいて、雨の日には
陸に上がっていることがタタイ。

夜、エサやりの時のイモりの様子で
明日の天気を知らることができた。

ハズレの日も
たまある

スゴイ!!!

④ 寿命が長い! 約25~30年

今年ふ化した子は、ぼくが42才まで
供に生きていくことになる。

スゴイ!!
⑤

成長とともに生活の場が

水中 ⇒ 陸上 ⇒ 水陸
と変化する

水中



ふ化した
幼力生

〜3ヶ月

陸上



幼力体

3ヶ月〜3年

水陸
(水中)



成体

3年〜30年

アカハライモリ

の成長と飼育

エカ生



イモリの卵

沼でつかまえたイモリを匹をつれて
帰る。お腹の大きな子が4個卵を
産んだ。水温の変化がスイッチになり
産んだ。産卵するそうて、連れて帰ってすぐ産んだ。



↑ふーい !!
(3匹はすぐに死んでしまった)

↑金色のもようの子もいた

ふ化して 2.3 日はお腹の
ヨークサック (栄養分の入った
袋) を持っているのて、何も
食べなくても生きられる。



ムカ生の月日は 外 魚鰓 (がいせい)
というえうが 外に出ている

ウーパールーパーに似ている。



↑アカムシ

生息地に何度も行ってミジンコや水中の木に
ついている突然のアカムシ(ユスリカのムカ虫)を見つけて
与えたが、続かず、ブラインシュリンプを購入した。
じ——としているムカ生が ブラインシュリンプを入れると、
すごい速さで パクパク たべる。とても安心した。



↑赤ムシをたべているところ

少し大きくなると 体が黒くなり、
手足もしっかりしてきて、赤ムシにも
いづいようになつた。

ムカ生 → ムカイ本へ



だんだん外魚鰓がなくなり
色が黒く、尾が細くなって
きたけど、急にエサを食べなく
なりました。とっても心配しました。

大好きな赤ムシもたべない日が
5日続いた。

ある日学校から帰ると水中
にいた子がガラスのかべを登って
いた。そしてそのままのりこえて
外に出てきた!!

思わず手にのせると手の土を
元気に歩いていた。とってもかわいい!!
エラ呼吸から肺呼吸に変わる間
大己文造が起っていたんだ!!



土に変わってドビムシや
ワラジムシを与えたらべた



かんそうしないうように
床をぬらしたキッチン
ペーパーにしてみた



幼体 → 成体

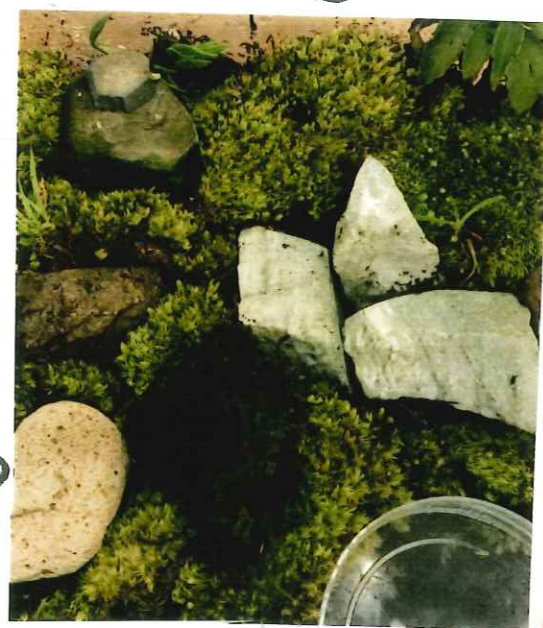


ずっと陸上ですごしていたエカ体が、3年目で水につかり出した。それから1週間、

水に入る直前のイモリ

のまにかおとなたちと

一諸に水に入っていて、ぼくは
いきなり水が好きになったのかと思っ
ていたが本で調べると、幼体から
成体になると水に入るとかいてあったのでびっくり
した。それで、赤虫しか食べなかったのに成体
と同じエサを食べるようになった。ずと×又た
と思っていた子も水に入ったら、こいん色が
はじめていたのでオスカ~と喜んでびっくりした。



陸に作った水場に
よく入るよになつた。



現在の成体の飼育環境は
陸地を多めにして水±易は
水深を約6cmにしている。
水中に流木を入れて空洞を
作った。年ぐらいたってよくみたら、

佐りがいろいろなところを掘って空洞や
トンネルをつくっている急におもしろいところ
から出てきてびっくりすることがある。

エサは、冷凍アカムシを

2日に1回与えている。

冬は少し食欲が少なくなる。



今年も
サシガキを
さがしに
行来湿地で
佐りの
幼生を
4匹見つけた

飼っている佐りか、卵を産んで、
幼生が幼体になり、飼育方法
に悩んでいるとき佐りにとても
くわしい人に出会えた。



エサや飼育方法などのわからないことを
何度も相談にのってもらった。そして外国産
のフロリダグチイモリや沖縄県産の
オキナワシリケンモリを食餌に始める
おかげをつくってくれた。

背中一金
がっついてるよう
な模様がある



オキナワシリケンモリ フロリダグチイモリ→

4年生の冬に入会した。水生生物
を保護する会で 魚や皆虫に詳しい
人たちに出会い 色々な活動に参加
させてもらった。人の前で話しをすることが
苦手だったけど、好きな生き物のことなら
どんどん話せた。もっともっと大好きなイモリや
水生生物のおもしろいところを
伝えて 守っていきなうと思った。

